

ニコニコマークの五輪が描かれた南相馬市原町区菅浜の菜の花畑迷路=15日(小型無人機で撮影)



会談は冒頭を除き、**通知事は、本県が処理** 風評被害が生じる懸念  
非公認で行われた。内 水の海洋放出で新たな  
と、廃炉作業の進展を  
と強調。国に対して本  
県の実情を理解した上  
「いん」を充てている

### 菜の花畑の迷路(南相馬市原町区)

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から十年一カ月が過ぎた津波被災地の南相馬市原町区菅浜に、菜の花の黄色いじゅうたん

## 笑顔広がるじゅうたん

空撮ふくしま



が広がっている。恒例の迷路のオープンが二十四日に迫る。空から撮ると「ニコニコマーク」の五輪などが描かれている。  
復興支援活動に取り組む市民団体「福興浜団」が子どもたちの笑顔が集まる場所にした。5月10日(平成二十五年)から毎年開放している。今年はずっとの農地に種をま

き、二つの迷路を設けた。代表の上野敬幸さん(58)は「菜の花畑を元気に走り回って疲やされてほしい」と願っている。  
開放日は二十四、二十五の両日、二十九日から五月五日まで。入場無料。時間は午前九時半から午後四時まで。問い合わせは事務局 電話0990(4554)142207。  
県内には不変の美しい自然や、復興産業で変化を遂げる地域など多様な景観がありま。小型無人機(ドローン)による空撮写真で、今の様子を鳥になったような気持ちでこ睨いたためです。随時掲載します。

- 福島第一原発の処理水処分について県が国に求めた取り組み
- ①関係者への説明と理解醸成
- ②浄化処理の確実な実施
- ③正確な情報発信
- ④万全な風評被害対策と事業者支援
- ⑤処理技術の継続的な検討

万全な対策を講じてほしいと要請。①関係者に対する説明と理解②浄化処理の確実な実施③正確な情報発信④万全な風評対策と将来に

# 不安払拭

## 対策の

### 政府の海洋放出基本方針

東京電力福島第一原子力発電所から処理水の放射性物質トリウムの海洋放出を巡り、政

## 官製風評

### 処理水海洋放出